

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No. 3203 (H.28)No. 3203

事務事業名	空家リノベーション支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	422601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	空家リノベーション支援事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	空家リノベーション支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5 快適な生活環境づくり
	施 策	1 住宅・住環境
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
移住に伴う移住者の自己負担を低減することにより、 県外からの移住を促進します。
事業内容
市内の空家住宅等を住宅として改修する費用の3分の 1以内(上限100万円)を補助します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	空家リノベーション支援事業 費補助 2件	5戸を目標とし、移住の促進 に努める

H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
5戸を目標とし、移 住の促進に努める	5戸を目標とし、 移住の促進に努 める	

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		1,459千円		5,000千円	5,000千円	5,000千円	
内訳(千円)							
国・県支出金		1,459		5,000	5,000	5,000	
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.15人		0.15人	0.15人	0.15人	
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	
②概算人件費	0千円	1,125千円	0千円	1,125千円	1,125千円	1,125千円	0千円
①+②総事業費	0千円	2,584千円	0千円	6,125千円	6,125千円	6,125千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
予算枠の5件に対して2件の実績にとどまりましたが、空家の活用促進を図れたことによる快適な住環境整備に役立つとともに、県外からの移住促進に貢献しました。 また、宅建協会会員に事業内容を周知する等、連携を図りました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
県の補助金の分配総額が減額になる恐れがあるため、継続して市広報、ホームページ、協力団体等を通じて周知を図り、早期の事業実施による補助金の確保に努めます。 なお、平成27年度の制度創設当初は5年間を目途に実施予定でありましたが、県の補助金(100%)を活用しての補助事業であることから、県の補助がある限り継続します。	名張市空家等対策計画